



家庭児童相談室の窓から

当室では相談者に利用していただけるような書籍を用意していますが、なかでも『恐竜の離婚 変わっていく家族のために』（文：ローリーン・クラスニー・ブラウン、絵：マーク・ブラウン、訳：日野智恵、日野健、発行：明石書店、2006年）という絵本がわたしは好きです。この本は「パパとママが別れたとき…」という絵本シリーズの1冊で、小学校中学年から中学生を対象としています。

親が他方の親の悪口を言ったらどうするか、ひとり親の生活はどんなものか、離れて暮らす親とどのように会うか、親の離婚を友だちにどう話すか、親の新しいパートナーとどうつきあうか…。親が離婚した子どもが直面しそうな諸々の悩みについて、恐竜の家族をモデルに描きながら、わかりやすく説明してい

きます。子どもにとって家庭の悩みは相談しにくく、身近なおとなにとっては答えるのが難しい問題なので、こういう絵本は子どもにもおとなにも、もっと活用していただきたいものです。

この絵本の魅力は、語り口調やイラストがどこことなくユーモラスで、読者を暖かな気持ちにさせるところですが、その根底にあるのは人を信じる姿勢だと思えます。

親は完ぺきではないが、あなたのことをちゃんと考えている。困ることがあったら、そのことを親に伝え、話し合おう。家族の形が変わって、不安や不満を感じることもあっても、周りの人を信頼し、寛容さをもって優しく接すれば、次第にうまくいく。大丈夫ですよ…。

そんなエンパワメントのメッセージを感じる本です。

(家庭児童相談室 相談員 砂川真澄)

発行所 熊本学園大学付属社会福祉研究所

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1 ☎ 096-364-5161 (内線1753)

発行人 所長 守弘仁志 編集人 社会福祉研究所委員会

印刷所 コロニー印刷 ☎ 096-353-1291



■古紙再生率100%の再生紙を利用しています。

■揮発性有機化合物発生の抑止と紙のリサイクル性に優れた「大豆インキ」を使用しています。